

# [FBL/PBL] 行動を誘起するサインのデザイン

## ■ 履修生

- 情報学研究科 岸本 裕大
- 経営管理大学院 越智 朋子

## ■ 実施責任者

- 情報学研究科 特定准教授 大島裕明
- デザイン学ユニット 特定教授 川上浩司

## ■ 実施協力者

- 学際融合教育研究推進センター 教務補佐員 白石晃一

## 本FBL/PBLの概要

- 公共空間における情報提供の方法を考え直し、そこで情報を伝えるだけでなく、情報の受け手に「価値のある体験」を生む行動を誘起するサインデザインのあり方を考える。
- 今回は、吉田ファブにおけるサインシステムの策定を行った。

## 本FBL/PBLの目標

- 吉田ファブが「何を行う場所であるか」を伝えたい
- サインを作るにあたって  
一誰の目にも留まるものでないといけない  
一誰がマークを見ても内容が分かるものでないとならない
- 吉田ファブの屋外と内部にサインを設置した。

## 屋外のサイン

- リバーズ・グラフィティの手法を用いて、サインを設置した



## 屋内のサイン

- 吉田ファブのリピーターの増加を目的とし、サインを作成した

